

2026年度新入生対象 入学前課題および理解度確認テストについて

高校入学まで残り少しの期間ですが、この期間の過ごし方で、高校生活のスタートラインが変わります。札幌光星高等学校では、皆さんの3年後の進路実現に向けて、高校1年次は「英語・数学」を軸にしながら、学習の仕方をしっかりと身につけてもらいます。来る大学入試は高校入試とは違い、学習すべき量は増え、難易度も上がります。当然試験が異なるため、そのためのトレーニングも変わります。そこで、高校生としての正しい学習習慣と方法を身につけることが重要になります。中学校までは勉強しなくても定期試験で良い点数が獲れたという人もいかもしれませんが、その貯金はすぐに使い果たすことになります。一方で、正しい学習習慣と方法を身につけた先輩には、中学時代は苦手だったけれども、光星に来て得意になったという人も少なくありません。この入学前課題にしっかりと取り組み、高校生活の好スタートを切りましょう！札幌光星高等学校は、全力で皆さんを応援します。

1. 入学前課題（英語・数学）について

次のページ以降に、英語、数学の入学前課題に関する指示があります。指示の通り、しっかりと学習してください。これらの内容は高校入学までに必ず身につけてきて欲しいものです。不安がある部分は、しっかりと克服してきてください。

2. 理解度確認テスト（英語・数学）について

入学前課題の取り組み状況を確認するために、理解度確認テストを実施します。範囲は、次のページ以降の英語・数学に関する指示を確認してください。

【実施日・教科】2026年4月9日（木）4校時 英語／5校時 数学（試験時間は50分間）

【始業式当日と翌日の動き（予定）】

	4/8（水）	4/9（木）
8:30	HR	HR
① 8:40～9:35	始業式・対面式 聖書伝達式	新入生ガイダンス② 〔 ・カリキュラムや成績について ・学校生活の過ごし方について ・学習、進路について 〕
② 9:45～10:40		
③ 10:50～11:45	新入生歓迎会	
④ 11:55～12:50	LHR	理解度確認テスト（英語）
昼休み	昼食必要	
⑤ 13:35～14:30	新入生ガイダンス①（国際交流）	理解度確認テスト（数学）
⑥ 14:40～15:35	身分証明書写真撮影	LHR（自己採点含）

※実施時間や順序は変更になる場合があります。 ※4/10（金）より通常授業となります。

入学前課題（英語）の取り組み方

高校で学習する英語は、小学校・中学校で学んだ内容を土台として積み上がっていきます。本校では、入学前課題として『プレップイングリッシュ 高校英語の基礎づくり [4 訂版]』（旺文社）を使用し、皆さんに、中学校までに学習した英語の重要な部分を復習してきてもらいます。

なお、入学後には、本冊子で復習した内容が身についているかを確認するテストを実施します。以下の「取り組み方」をよく読み、計画的に学習を進めてください。

☆『プレップイングリッシュ』への取り組み方☆

1. 少しずつ毎日取り組もう！

- ▶ 本冊子 2 ページ「この本はこんなふうに使ってください！」にある通り、「**少しずつ、でも毎日**」英語に触れることが大切です。
- ▶ 本冊子 14 ページから 123 ページまで、前から順番に 1 ページずつ確実に取り組みましょう。
- ▶ 入学まで約 60 日あるため、**1 日 2 ページ**を目安に進めると無理なく終わられます。
- ▶ 問題を解くときは、左側に自分の理解度に応じて次の記号をつけましょう。
 - 自信をもって答えられた → ○
 - △ なんとなく答えた → △
 - × 自信がない／答えられなかった → ×

2. 丸付け・復習を丁寧に行おう！

- ▶ 解答冊子を使い、自分の答えと見比べながら、丸付けをしましょう。
- ▶ 間違えた問題は、**最初の答えを消さずに、正しい答えを赤で書き加えてください。**
- ▶ 丸付けと復習は、英語に限らず、すべての教科で必要となる重要な学習習慣です。
- ▶ 「間違えた問題」や「なぜその答えになるのか説明できない問題」は、次の流れを意識して学習しましょう。

説明を読む→問題を解く→解答・解説を確認する→何も見ずに説明できるか確認する

- ▶ ○をつけたのに間違えた問題、△をつけて正解した問題は特に要注意です。「なんとなく正解した」問題は、理解が不十分なままになりやすく、次に同じ問題で間違える原因になります。
- ▶ 間違えた英文は、本冊子 4 ページ「音声のご利用方法」にある QR コードまたは URL から、正しい音声を確認し、5 回音読しましょう。

3. EXERCISE で理解度を確認しよう！

- ▶ 4 ページごとに EXERCISE（まとめ問題）があります。それまで学習した内容の確認として、**何も見ずに**解いてみましょう。
- ▶ 解き方・丸付けの方法は、1・2 と同じです。
- ▶ 各大問の後に示されている参照ページ（例：→p.14）を活用し、間違えた問題があった場合は該当ページに戻って復習しましょう。
- ▶ EXERCISE にも音声があります。間違えた問題の英文は音声を確認し、5 回**音読**しましょう。

4. 解答冊子の付録にも取り組もう！

- ▶ 解答冊子 p.93~95「活用形を覚えよう」
 - 表を完成させた後、音声を聞いたり、書いたり、声に出したりして繰り返し練習しましょう。
- ▶ 英語の力をさらに伸ばしたい人は、解答冊子 p.96「ディクテーションシート」にも取り組んでみよう。
 - 指示されたページ以外についても、ノートなどを使って自主的に取り組んでみましょう。

★4／9（木）実施 理解度確認テストについて

入学後、入学前課題の内容が理解できているかを確認するテストを行います。このテストは、

- ▶ 課題にどのくらい取り組めたか
- ▶ どの文法項目が理解できているか

を確認し、**今後の授業に生かすためのもの**です。入学前課題にしっかり取り組んでいれば、特別な対策は必要ありません。完璧でなくて構いません。「最後までやり切ること」「理由を考えること」を意識して、入学前課題に取り組みましょう。みなさんの入学を、教職員一同楽しみにしています。

※課題の提出について

『プレップイングリッシュ』の提出方法と提出日は入学後に改めて指示を出します。

入学前課題（数学）の取り組み方

4月から札幌光星高校での生活が始まり、新たな学びのスタートを切ることとなります。まずは、基礎的な知識を確認するための課題として、以下の問題集を解いてください。なお、入学後には、問題集で確認した内容が身に付いているかを確認するテストを実施します。

◇問題集

[書き込み式] ジュニア演習数学 I・A 受験編

□課題内容

指定の問題集の中の P. 56- P. 59 (集合と命題) および P. 80- P. 87 (数学と人間の活動) を除く すべての問題に解答してください。解答は直接問題集に記入してください。そして、付属の解答をみて自己採点をしてください。課題に取り組む際には、以下の①～③に注意しましょう。

- ① **丁寧に解答する**：答えがすぐにわからなくても、焦らずに考えてみましょう。
- ② **自己採点をする**：採点後に、問題の解答解説を読み、振り返りをする。特に、わからなかった問題や間違えた問題については、なぜその答えになるのか、解答解説を今一度読んで確認しましょう。解けなかった問題については解き直しをしてください。理解を深めるために、自分なりの言葉で説明してみるのもよいでしょう。
- ③ **時間をかけて取り組む**：課題に取り組む計画を立て、急がず、少しずつ問題を解きながら確実に知識を定着させてください。

※中学で身に付けた知識・技能がおろそかだと、高校で新しく学習する知識・技能を身につけようと思っても中々うまくいきません。そこで、この課題の問題をすべて解き、高校からの学習で良いスタート切れるよう、基礎・基本の確認と定着に努めてください。

また、問題を解く際には正確さが大切です。さらに、すばやく解く力も求められます。高校数学では、1つの問題を解くために多くの知識が必要であり、そしてそれに基づいて考えなければなりません。そのため、問題を解くにも時間がかかります。基本的な計算が素早くできると、考える時間をより多く確保することが可能になります。ですから、計算問題を解くときには「時間内に正確にすばやく計算する」ことを意識してください。

□提出方法

解答が終わったら、指定された提出日（4月3日）に問題冊子（確認テストも含む）を提出してください。冊子には自分の名前とクラス名等を明記することを忘れないでください。

□4/9（木）実施 理解度確認テストについて

入学後、入学前課題の内容が理解できているかを確認するテストを行います。このテストは、

- ・課題にどのくらい取り組めたか
- ・中学校で学習した数学の内容がどのくらい身に付いているか

を確認し、今後の授業に生かすためのものです。入学前課題にしっかりと取り組んでいれば、特別な対策は必要ありません。

高校生活は新しい挑戦の連続です。今回の課題を通じて、基本的な知識をしっかりと身に付けることが、これからの学びの大きな土台になります。最初は難しく感じるかもしれませんが、少しずつでも確実に進んでいけば、必ず自分の力になるはずですよ。

みなさんがこの課題に真剣に取り組み、成長していく姿をととても楽しみにしています。一步一步、確実に自信を持って進んでいきましょう！